



# 明日へ ジャンプ

No.181



## 高校生活での経験を生かし 日本と外国の架け橋に

伊勢崎高等学校 3年 <sup>ながしま あいり</sup>長島 愛莉さん

伊勢崎高校のグローバルコミュニケーション科で外国語を学ぶ長島さんは、インターナショナル部の部長を務めています。そんな長島さんにインターナショナル部での活動について聞きました。

「インターナショナル部では、外国のカードゲームで遊んだり、外国で実際に行われているイベントを校内で行ったりして外国の言葉や文化に親しんでいます。イベントは自分たちで企画し、ハロウィンで仮装をして先生や生徒にお菓子を配ったり、イースターで卵に絵を描いて公園に隠したりするなど、外国の文化を実際に体験しています」

部長として積極的にさまざまなイベントの企画・立案を行う長島さんですが、イベントを開催する際には苦勞もあるそうです。

「文化祭や文化部発表会などでは、イベントの企画から考えます。部員からさまざまな意見が出るため、それをまとめて形にするのはとても大変ですが、その分無事に終わった時は忘れられないほどの達成感を味わえます」

長島さんは、部活動などで



### プロフィール

ながしま・あいり

小学1年生の頃から書道を習っており、現在は書道部の部長も兼務している。大学受験を控えており、勉強と部活動の両立で日々忙しく過ごす中、休日には友達と食事に行ったり、映画を見たりすることが楽しみ。

の日々の努力が認められ、この7月に学校の代表として韓国へ短期留学をしました。「最初は不安でしたが、外国の文化を部活動を通じて学び、普段から身近に感じていたので、すぐに緊張がほぐれました。現地では、同世代の学生と積極的に交流することができ、充実した時間を過ごすことができました」

学校生活や部活動を通じて、外国の言語や文化に触れ、さらに外国への関心が高まったという長島さん。最後に、将来の夢を聞きました。

「高校卒業後は、大学で国際関係について学び、将来は日本と外国の架け橋となれるような仕事をしたいです」